

「口腔外科処置と下口唇知覚鈍麻に関する後ろ向き観察研究」へのご協力をお願い

当院では、口腔外科処置後の下口唇知覚鈍麻（下唇の感覚が鈍くなること）を生じた患者さんを対象として治療を行っています。口腔外科処置において、よく遭遇する合併症の一つに下口唇知覚鈍麻があります。これはオトガイ神経（下顎の中を通る下唇の感覚を司る神経）と病変との解剖学的な距離が近接していることにより、直接的または間接的な神経のダメージによって生じます。この下口唇知覚鈍麻は後遺症として残存することがあり、残存のリスク因子や治療はさまざまであり、一定の見解が得られていないのが現状です。さらに、下口唇知覚鈍麻に関わる因子は多く存在し、治療法も考慮した上で多角的に検討した報告はありません。そこで下口唇知覚鈍麻を生じた患者さんのデータをカルテから収集し、比較や解析を行うことで、知覚鈍麻残存のリスク因子や治療法と下口唇知覚鈍麻残存との関連性を探索する研究を実施することといたしました。

- 【研究課題名】 口腔外科処置と下口唇知覚鈍麻に関する後ろ向き観察研究
- 【研究責任者氏名】 上田順宏 口腔外科学講座 助教
- 【研究機関の名称】 奈良県立医科大学
- 【研究機関の長】 細井裕司 奈良県立医科大学 学長
- 【主任研究者】 長谷川巧実 神戸大学大学院医学研究科外科系講座口腔外科学分野 助教
- 【共同研究者】 五月女さき子 長崎大学病院 周術期口腔管理センター 助教
 山田慎一 信州大学医学部口腔外科学分野 准教授
 兒島由佳 関西医科大学附属枚方病院歯科口腔外科 講師
 宮本大模 名古屋市立大学大学院医学研究科口腔外科学分野 助教
 林田 咲 長崎大学病院口腔外科 助教
 古森孝英 神戸大学大学院医学研究科外科系講座口腔外科学分野 教授
 桐田忠昭 奈良県立医科大学口腔外科学講座 教授
 梅田正博 長崎大学医歯薬学総合研究科口腔腫瘍治療学分野 教授
 栗田浩 信州大学医学部口腔外科学分野 教授
 渋谷恭之 名古屋市立大学大学院医学研究科口腔外科学分野 教授

【研究の概要】

○研究の対象期間、対象者

- 《研究期間》 データ解析：倫理委員会の承認日から 2018 年 3 月 31 日まで
データ対象：2010 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日まで
- 《対象者》 研究対象症例期間内に口腔外科処置後の下口唇知覚鈍麻を生じた症例

○研究の方法

《評価項目》

- 1) 患者基本情報：年齢，性別，喫煙の有無
- 2) 手術内容（術式，術中特記事項）
- 3) 画像所見
- 4) 術後管理内容
- 5) 下口唇知覚鈍麻残存の有無，経過

《評価方法の概要》過去の診療録を調査します。統計解析により知覚鈍麻残存のリスク因子や治療法と下口唇知覚鈍麻残存との関連性を探索します。

○研究体制

本研究は神戸大学病院口腔外科が主任施設となる多施設共同研究です。参加施設は、奈良県立医科大学附属病院口腔外科，関西医科大学附属枚方病院歯科口腔外科，名古屋市立大学附属病院口腔外科，長崎大学病院口腔外科，和歌山県立医科大学附属病院口腔外科となります。

【個人情報の扱い】

個人情報については，各症例から情報を取り出す際に，氏名，生年月日，住所等の個人を特定できる情報を削除する。

【個人情報の開示に係る手続き】

奈良県立医科大学附属病院の個人情報開示に基づき開示手続きを行います。詳しくは下記をご参照ください。

<http://www.naramed-u.ac.jp/hospital/kojinjoho.html>

【個人情報の利用目的、開示、非開示の説明】

症例に基づく研究のために個人情報を利用します。研究活動を実施する際は，実施に関する法令や倫理指針，関係団体などのガイドライン等が定められている場合は，それに沿って誠実に遂行いたします。

個人情報の開示は手続きに基づき行います。ただし，他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。また，開示の目的によっては開示をお断りする場合があります。

【研究計画書および研究方法に関する資料の入手、閲覧】

研究計画書の入手、閲覧をご希望される研究対象者は問い合わせ先へご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手、閲覧が可能となります。ただし、入手、閲覧の目的によっては入手、閲覧をお断りする場合があります。

研究方法については、研究概要をご参照ください。

【問い合わせ先】

奈良県立医科大学 口腔外科学講座 研究責任者 上田順宏

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

TEL : 0744-29-8876 Email : n-ueda@naramed-u.ac.jp